

【公益】社会福祉・高齢者

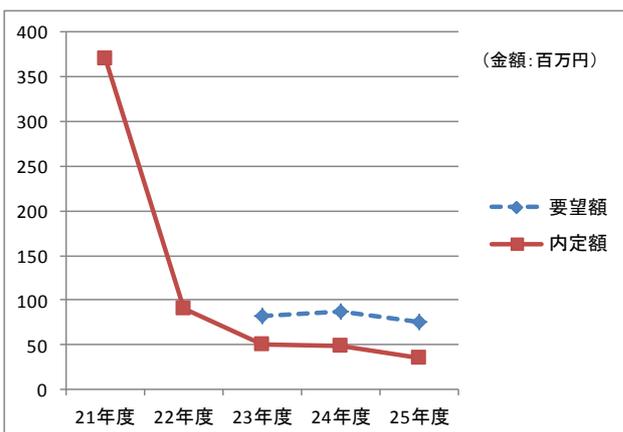
1. 補助の目的・概要

社会福祉の増進を目的とする事業の中で、主として老人福祉法の範囲となる高齢者福祉の分野については、以前は特別養護老人ホームや短期入所施設、グループホーム等に対して支援を行ってきた。2000年に介護保険制度が始まり、高齢者福祉分野の多くは公的保険により手当てされるようになるなど、高齢者を取り巻く環境は変化している。

平成23年度の公益事業振興補助においては、高齢者福祉事業7件（他、辞退1件）について支援を行った。

2. 補助実績（件数・金額）

社会福祉・高齢者



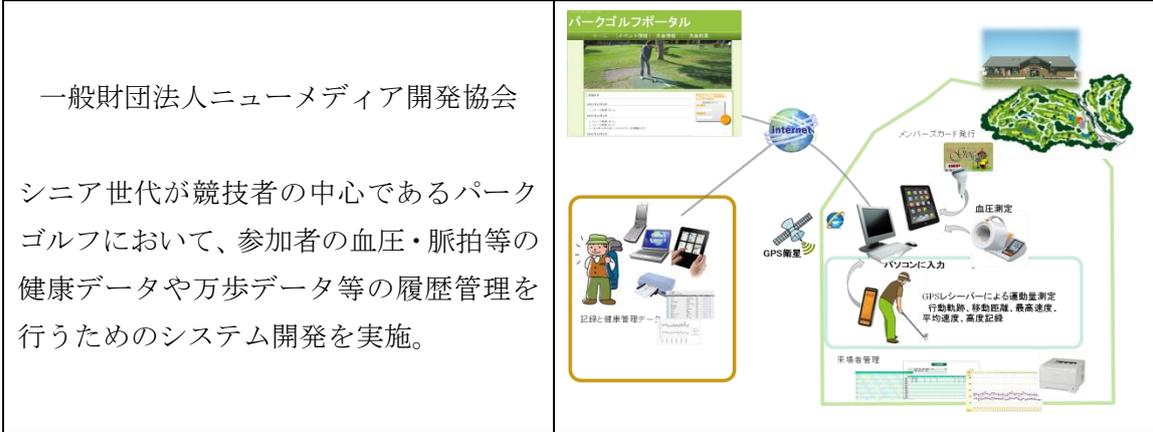
年度	要望数 (件)	要望額 (百万円)	内定数 [※] (件)	内定額 [※] (百万円)
21年度			10	370
22年度			5	90
23年度	10	83	7	51
24年度	9	87	8	48
25年度	10	76	8	35

※辞退となった事業を除く

平成23年度においては、10件8,300万円の補助要望があり、そのうちお年寄りが幸せに暮らせる社会を作る活動7件5,100万円の支援を行った。なお、8件の内定事業のうち、1件が辞退となった。

3. 補助事業の事例

<p>社会福祉法人エヌエイチケイ 厚生文化事業団</p> <p>認知症に関するDVD教材やテキストの作成を行い、全国の認知症支援拠点機関・ケアマネージャーの全国組織・家族会等に配布。法人の福祉ビデオライブラリーでも無料で貸出。</p>	
---	--



4. 補助事業の成果

(福) エヌエイチケイ厚生文化事業団の行う高齢者の福祉活動について支援を行った。この事業は、全国の家族会、保健師や介護福祉士の養成機関、地域包括支援センターなどに、認知症ケアに関する教材(テキスト、DVD)を作成・貸与するもので、認知症について、また認知症ケアについての理解を深めることにより、お年寄りがよりよいケアを受けることを目指すものである。

また、(一財)ニューメディア開発協会の行う、高齢者の社会参加を促進する取り組みについても補助を行った。この事業は、スポーツ活動における高齢者のための自己健康管理支援システムの開発やシニアネットフォーラムの開催を通じて、高齢者がより健康維持への関心を高め、IT技術の利用によるネットワーク作りを促進することを目的としている。

これらの事業を通じて、高齢者や高齢者を支える家族に対するケアを向上させるとともに、高齢者がより社会参加できるような社会づくりを図っている。

5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象 10 件(1 補助事業で複数項目を評価していることがあるため事業数とは異なる)のうち、5 段階評価で、評価 5 [極めて高い]が 1 件、評価 4 [比較的高い]が 5 件、評価 3 [ほぼ問題ない]が 4 件であった。

事業者の自己評価等を踏まえ J K A で評価を行ったところ、A++[極めて高い]が 1 件 A+[比較的高い]が 6 件、A [概ね十分]が 3 件と、すべての事業で補助事業として概ね十分と評価される A 以上の評価となっており、補助の目的である、社会福祉における高齢者に対する福祉の増進に寄与することができたと思われる。

6. 今後の検討課題

高齢者の福祉を目的とする補助については、国の制度の現状を踏まえ、JKAの補助事業として何ができるか、どのように取組んでいくかを検討する必要がある。